



1. 日本銀行大阪支店見学会の開催

本年度も、日本銀行大阪支店の見学会を5月10日(木)に実施しました。参加者数は36名(内全中貿会員27名)に上り、2グループに分かれて日銀内部の見学を行いました。

日銀大阪支店は1882年(明治15年)営業を開始、現在の建物の旧館は、有名な建築家である辰野金吾氏の設計で明治36年に竣工しております。日本銀行の役割としては、①発券銀行としての役割、②銀行の銀行としての役割、③政府の銀行としての役割があります。

参加者の方々は皆熱心に案内係の説明に耳を傾け、特に紙幣の偽造防止技術には高い関心が向けられました。



主な偽造防止技術(一万円券の例)

ホログラム

角度を変えると、画像の色や模様に変化して見えます



すき入れパーパターン

光に透かすと、すき入れられた紙の線が透き通ります



パールインキ

お札を傾げると、左右の赤白部分にピンク色を帯びたパール光沢のある半透明な模様浮かび上がります



潜像模様

お札を傾げると、表面左下には「10000」の文字が、裏面右上には「NIPPON」の文字が浮かび上がります



マイクロ文字

「NIPPON BANK」と書かれた小さな文字が印刷されています



特殊発光インキ

裏の印章(日本銀行郵政印)に紫外線をあてるとオレンジ色に光るほか、地紋の一部が青緑色に発光します

傷んだお札の引き換え基準

面積が2/3以上の場合
燃えたり破れたりしたお札でも、表・裏両面があり、一定以上の面積が残っていれば、きれいなものと引き換えることができます。燃えて灰になっても、その灰がお札だと確認できれば引き換えることができます。
全額として引き換え

面積が2/5以上2/3未満の場合
半額として引き換え

面積が2/5未満の場合
失効
(お札として交換がない)



日本銀行では、本支店に持ち込まれた傷んだお札を鑑定の上、きれいなお札に引き換えています(写真は東日本大震災の際の引き換え作業の様子)

日本最古の紙幣と最初の日本銀行券は何？

日本で最も古い紙幣は、安土桃山時代末期、1600年頃に伊勢山田地方（現在の三重県伊勢市）で流通し始めた「山田羽書」であると言われています。

山田羽書は、伊勢神宮の神官であった山田御師（折禱奉養を行う神官で商人も兼ねていました）によって秤量（さかば）銀貨の釣り銭の代わりに発行された、端数銀貨の預かり証（端書）でした。当時、銀貨は額面を持たず、重さを量って使う秤量貨幣だったので、端数を調整するために切遣い（必要な目方だけ切って使用）する習慣がありました。しかし、元和年間（1615～24年）に幕府が銀貨の切遣いを禁止したため、羽書は端数処理の簡便化に役立ちました。後に、一定の額面を持つようになり、伊勢神宮信仰にも支えられた山田羽書は、人々の非常に高い信用を得て、単なる預かり証から次第に人々の間で流通する紙幣としての役割を果たすようになりました。また、「山田羽書」の影響を受けて周辺地域でも有力商人による羽書の発行が見られるようになり、これらの私札は後の藩札の元になったと言われています。



山田羽書

では、わが国で最初に発行された日本銀行券は何だったのでしょうか。

それは、1885年（明治18年）5月9日に発行された「旧十円券」です。この銀行券は銀貨兌換券で、券表面には「此券引かへに銀貨拾圓相渡可申候也」と記されています。



旧十円券

コラム

世界で最初の銀行券は？

ちなみに、世界で最初の銀行券は、スウェーデンにおいて1661年に、重くて大きい銅板貨幣の代わりに、ストックホルム銀行が発行した信用券であると言われています。



ストックホルム銀行券（1666年）

(一社)全国中小貿易業連盟(全中貿)は、日本と歴史的な関係が深く、又、今後経済関係の発展が期待される極東ロシアを訪問します。今回も同国において、別紙日程(案)により、公的な機関や、現地企業、日系進出企業等を訪問し、現地企業との取引の可能性や投資環境を調査します。また、この機会に両国の有数の観光地も訪問しますので、皆様方のたくさんのご参加をお待ちしております。

記

■期 間： 2018年8月19日(日)～8月24日(金) 6日間

■訪 問 地： ハバロフスク・ウラジオストック

■主 催： (一社)全国中小貿易業連盟

■協力(予定)： 日本貿易振興機構(JETRO)大阪本部
(一財)貿易・産業協力振興財団(ITIC)

■募集人数： 13名～20名

■申込締切： 2018年6月15日(金)

■参加費用(費用概算)：

未定(約300,000円)／人(エコノミークラス、料4ツ星クラス以上シングルルーム利用
大阪一東京間航空料金片道、共通経費、ビザ代、空港税等は含まず)

ビジネスクラス追加料金 112,000円(Cクラス 但し席に限りあり)

※全食付

共通経費としては、3万円/人を徴収予定 ◎全中貿会員補助あり(予定)

■取扱旅行会社： 未定

■利用航空会社： シベリア航空

■問 合 せ： 全中貿 鹿内・浅井(Tel:06-6443-5810)

以上

【極東ロシア経済交流派遣団2018】参加申込書

◆FAX:06-6443-7196 全中貿事務局 宛

貴社名	(フリガナ)	業 種	
参加者氏名	(フリガナ)	所 属 職	
ご住所	〒		
電話：	FAX：	e-mail：	
座席クラス 希望クラスを○で囲んでください。	エコノミークラス	ビジネスクラス	



無料

国際ビジネスサポートセンター

自社製品を海外に売り込みたい、
海外でパートナーを探したい、
海外に進出したい等々…
府内中小企業の皆様の国際ビジネスを支援します！

サポート1

国際ビジネス相談

経験豊富な常駐コーディネーターが皆様の相談に応じます。極めて専門的な分野や特定の国・地域に関する相談につきましては、コーディネーターが専門アドバイザーと連携しながら問題解決に向けて支援を行います。

※裏面の申込書をご利用ください。

専門アドバイザーを置いている分野
国際法務(契約書)、国際取引における企業買収や債券回収、知的財産権(特許権、商標権)、税務・会計、中国全般(香港・台湾含む)

<http://www.mydome.jp/ibo/bmc/>

サポート2

WEBサービス OSAKA EXPORTERS GUIDE (大阪企業輸出製品案内)

海外への販路拡大を支援するために自社の得意分野や製品、技術などの詳細情報を英語に翻訳し、WEB上で貴社の売りたい商品等をPRします。(英語への無料翻訳サービス付)

<http://www.mydome.jp/ibo/exporters/>

サポート3

中国(上海)ビジネスサポート

上海事務所と連携し、現地企業のご紹介や現地における市場調査、情報提供など各種中国ビジネスを支援します。特に中国華東地域(上海市、江蘇省、浙江省周辺)については、販路開拓支援を中心としたさまざまな支援機能を強化しています。

※裏面の申込書をご利用ください。

<http://www.mydome.jp/ibo/overseas/#shanghai>

サポート4

海外展示会、商談会、 国際ビジネスセミナー、出張相談会の開催

※一部有料

海外展示会への出展や海外企業との商談会、国際ビジネスに役立つセミナーや出張相談会を開催しています。開催情報は随時、本機構のHPに掲載しています。

http://www.mydome.jp/ibo/event_info/

ご相談

国際ビジネスサポートセンター

公益財団法人大阪産業振興機構 国際ビジネス支援課内

TEL:06-6947-4080 (平日 9:30~17:00)

FAX:06-6947-4326 E-mail:bsc@mydome.jp

お問合せ

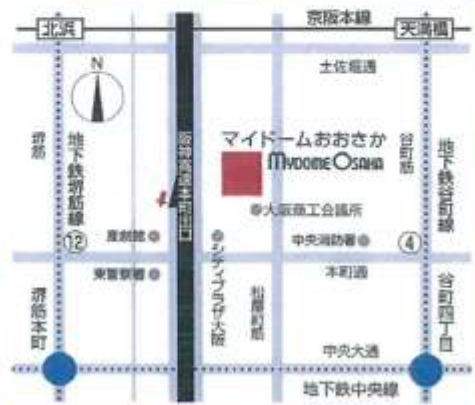
国際ビジネス支援課

公益財団法人大阪産業振興機構 経営支援部

TEL:06-6947-4088

FAX:06-6947-4326 E-mail:ibo@mydome.jp

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか7階



<http://www.mydome.jp/ibo/>

経済産業省は、製品安全に積極的に取り組む企業・団体を表彰する、「製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）」を実施しています。この表彰の、平成30年度の募集を開始しました。皆さまのご応募をお待ちしています。

◆募集期間

2018年5月22日（火）～2018年7月18日（水）

◆募集対象

◇「消費生活用製品」の製造・輸入、小売販売事業を行っている企業

◇「消費生活用製品」に関連した事業を行っている企業・団体

※「消費生活用製品」とは、主として一般消費者の生活の用に供される製品をいいます。

詳細は経済産業省のWEBページをご覧ください。

http://www.meti.go.jp/product_safety/ps-award/

◆応募説明会

製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）の概要・審査内容の説明と過去の受賞企業の講演を実施予定です。

説明会後には、ご希望の方を対象に個別相談会を実施します。

製品安全を「価値」に
その取組を応援します

PSアワード2018
製品安全対策優良企業表彰
募集期間 2018年5月22日(火)～7月18日(水)

<p>平成30年度製品安全対策優良企業表彰（PSアワード2018）の募集を開始します</p> <p>募集期間は5月22日(火)～7月18日(水)までです。応募、審査など手続きの方法は応募詳細にてご確認ください。</p> <p>応募詳細を見る</p>	<p>PSアワード「応募説明会」を開催します</p> <p>応募説明会・個別相談会を開催します。表彰制度の概要や審査内容の説明、受賞企業の講演などを行います。開催日時・場所などは本ページで追ってご案内いたします。</p>	<p>メールマガジンのご案内</p> <p>PSアワードや製品安全の分野に関する情報をお届けいたします。こちらよりお申込みいただけます。</p> <p></p> <p>詳細を見る</p>
--	--	--



2017年度 PSアワード受賞企業・団体 紹介

第11回製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）の
受賞企業・団体を発表しました。

[詳細を見る](#)

部門	表彰内容	募集対象
中小企業 小売販売事業者部門	・ 技術総括・保安審議官賞 ・ 優良賞（審査委員会賞）	「消費生活用製品※」の小 売販売事業を行う者
上記以外の団体部門	・ 特別賞（審査委員会賞）	上記以外の「消費生活用製 品※」に関連した事業を行 う団体
上記以外の企業部門	・ 特別賞（審査委員会賞）	上記以外の「消費生活用製 品※」に関連した事業を行 う企業

※「消費生活用製品」とは、主として一般消費者の生活の用に供される製品をいいます。（消費生活用製品安全法第2条）

応募企業・団体からの声

- ・ 製品安全についてのアドバイスを得られ、自社の強み・課題が明確になりました
- ・ 製品安全にかかわる関係者のモチベーションが上がりました
- ・ 製品安全の取り組みを体系的に整理できました

受賞企業・団体からの声

- ・ 経済産業大臣賞の受賞をPRできました
- ・ 取材や講演依頼を受けるなど、情報発信の機会が増えました
- ・ 社員の製品安全に対する意識・スキルが高まりました
- ・ 受賞をきっかけに新たな取引先を獲得できました
- ・ 求人への応募人数が増えました
- ・ お客様からの信頼を高めることに繋がりました

▶本ニュースに関するご照会・ご意見等は、全中貿事務局（大洋株式会社内）鹿内 までお願いします。
全中貿事務局 TEL/ 06-6443-5810 E-MAIL / zenchubo.jimukyoku@jafta.jp